

## 「言霊(ことだま)」

230621

これまで、生徒の皆さんには、あいさつを始めとして「言葉を大切に」ということを伝えていきます。その言葉について考えている中で、「言霊」という言葉に出会いました。そこで、「言霊」について調べてみました。

日本人は古くから、言葉に霊が宿っていると考えていました。言葉にして発するとその霊力が働き、言葉にしたことが実現すると考えていたと言われていきます。つまり、良い言葉を発すると良い事が起こり、不吉な言葉を発すると悪い事が起こると考えていたようです。そのため、美しい言葉を使うようにすることが日本人の中に根付いていったと考えられています。

また、「言葉」(ことば)には「言葉」「辞」「言羽」といった文字が当てられますが、その中で今は一般的に「葉」が使われています。「葉」は「たくさん」という意味で、「豊かさ」を連想することができます。

皆さんには「良い言葉」「温かい言葉」を自然とたくさんあふれるように使うようになってほしいと思っています。そして、相手や事柄を攻撃する言葉や冷たい言葉は、何も生み出さないこと、自分と周りとの関係を壊してしまうことを常に頭に入れて心がけてほしいです。

幸田中学校に相手を思いやる、優しい「言霊」に満ちた言葉が行き交うことを願っています。もちろん、先生たちも、皆さんへ言霊を意識した言葉で伝えるように心掛けていきます。